

家庭礼拝 式次第

感謝と賛美(1人1分ずつ/全体5分以内)

集まったみなさんで、お母さんとの思い出やお母さんの良いところ、奥さんの良いところや奥さんとの良い思い出を1つだけ話してください。お母さんや奥さんは、母や妻として楽しかった事を1つだけ話して下さい。

賛美の時間 ※お祈りしてから賛美しましょう

- (1) 賛美を2曲捧げましょう。礼拝を導く方が決めても良いですし、皆さんが好きな賛美や最近、心に浮かんでくる賛美などを賛美しましょう。またオンライン礼拝の賛美部分だけを一緒に賛美しても結構です。
- (2) 賛美の準備が難しい方などは
新聖歌208番 「イエスは愛で満たす」
新聖歌257番 「キリストは生きておられる」を賛美しましょう。

聖書を読みましょう

- (1) 礼拝の司会をされる方は以下の文章を読んで、参加される方にこの本文の背景を少し説明して下さい。

■お話の背景

当時、主の宮では幼い子供を主のものとして捧げる儀式が行われていました(幼子を^{いけにえ}生贄として捧げるような怖い儀式ではありません)。子供を主からの預かった贈り物として認識し、信仰を持って育てる事を祈る儀式でした。イエス様とその家族が向かったエルサレムの主の宮では2人の老人が登場します。1人はシメオン、もう一人はアンナでした。

■登場人物の動きや気持ちを考えながら読みましょう。

アンナ—女預言者でした。1度結婚したが、結婚後7年目に夫と死別。

その後は未亡人として相当期間を過ごし84歳になっていました。

- (2) 聖書の本文を読みましょう。ルカによるイエスキリストの福音2章36～38節を1節ずつ読んでみましょう。

- (3) ここに注目しよう！

司会をされる方は代表して読むか、ご自分の言葉で説明したり、参加者に読んでもらいましょう。

①アンナの一生はたったの3節だが波乱万丈。

アンナという女性の預言者の84歳までの一生は短く3節にまとめられています。3節と短いですが、その人生は波乱万丈でした。彼女はイスラエル民族出身で、女性の預言者でした。当時の預言者は旧約聖書について説く事が主な働きでした。その中で彼女は若くして結婚をします。どの聖書を読んでも「娘の時代に」とか「若い時代に」などの表現が出てきている事から比較的、若い歳で結婚をしました。しかし、その結婚生活は長くは続きませんでした。わずか7年で夫と死別。その後、長きに渡って未亡人として過ごし、84歳まで生きてきたのです。

②様々な選択の中で

夫を失ったアンナ。彼女には人生の様々な選択肢がありました。しかし、37節を読んでも、「いつも主の宮にいて」「断食して祈り」という言葉が並んでいます。彼女は創造主とともに歩む決断をしたのです。現代のような時代で、教会に居住しながら…というのは難しいかもしれませんが、いつも主の近くに居ようとした彼女の選択は素晴らしいものですし、現代でも他の形で実践できるのではないのでしょうか。

③人生の後半に頂いた恵み

そのように創造主の近くにいる事をいつも選び続けたアンナさん。人生の最後の部分とも言える84歳にして、大きな恵みを経験します。それはイエス様に出会うという恵みです。救い主に直接お出会いする機

会を与えられました。そして、それだけに終わらず38節には「救い主を待ち望んでいるイスラエルの人々に、この幼子こそ救い主なのだと言った」と出てきます。彼女の人生はわずか3節だけですが、何よりも創造主に喜ばれる働きができたのです。

④様々な立場の母・妻・女性として

現代は、様々な立場から母・妻・女性を考える必要があります。しかし、変わらないのは、その立場で創造主に近づこうとする時に創造主が喜ばれ、そして、人生の中で報いを与えてくださる事です。

一緒に分かち合いましょう

(1) 自分自身の経験として

「母は強し」とはよく言いますが、実はその立場は弱く大変なものです。アンナさんに子供がいたかどうかは分かりませんが、彼女の人生も大変なものでした。若くに夫を亡くし、1人で家庭を守っていかねばならない立場だったかもしれません。その中で彼女は創造主を中心として生活する事を決断します。このような姿は、もちろん夫や子供も頼りになりますが、心の底から1番委ねるお方は創造主である事を教えてくれます。

あなたの母・妻・女性の人生の中で創造主が助けてくださった経験、もしくは心の底から創造主により頼んだ人生の時がありましたか。分かち合ってください。

(2) 周りを見ながら

女性として、妻として、母としての生活は意外と忙しいものです。食事・選択・経済的管理などある意味全ての業務をしなければなりません。そんなお母さんや奥さん、女性の方々が創造主と向き合う時間を確保してあげる為には、ご主人や子供達、周りの人たちの理解と協力が必要です。家族や周りの皆さんとどのようにその時間を確保できるか、話し合ってみましょう。

一緒に祈りましょう

(1)新型コロナウイルスの事態の収束の為に

(2)自分のお母さん、奥さん、周りの女性の祈りの課題を聞いて祈りましょう。

(3)教会の女性の皆さんが、アンナのように創造主と近い生活を送る事ができるように祈りましょう。

献金

捧げ物の準備がある場合にはここで捧げましょう。司会をされる方はそれをまとめてくださり、感謝の祈りを捧げて下さい。次回の礼拝の時にそれを教会の献金袋に入れるなどして創造主にお捧げ下さい。

主の祈りで礼拝を終えましょう。

天にまします我らの父よ。

願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国を来たさせたまえ。

みこころの天になるごとく、

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧（かて）を

今日も与えたまえ。

我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、

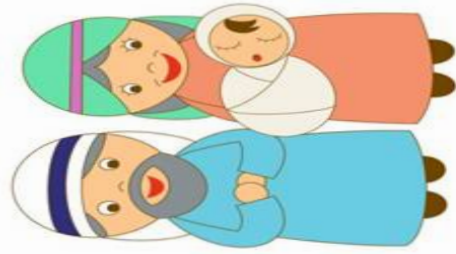
悪より救いいただいたまえ。

国と力と栄えとは、

限りなく汝（なんじ）のものなればなり。

アーメン。

小さいお子様がおられる家庭は、親御さんの判断で話の内容を子供がわかりやすいように、短縮したり簡素化して頂いて構いません。ご家族みんなで捧げる事ができるようにご配慮ください。次のページの簡単なイラストも必要でしたらお用い下さい。



イエス様と
アンナ
おばあちゃん

